

編集
後期

今月で47歳になります

40歳を過ぎてから、
自分の年齢に興味がなくなってきました
年齢を聞かれても、何歳だっけ？と
とっさに年齢が出てこないことも増えました
それでも確実に毎年歳をとるのですね
家族も『誕生日？あー、そうなんだあ』みたいな
感じですが、節目として、美味しいお酒でも飲んで
自分で自分を祝い、感謝したいと思います

◆ ニュースレター発行の目的とは ◆

私達は大好きな戸塚区だけを専門にすることで、一人一人の細やかな要望
に合った不動産売買のお手伝いをしています。
そんな中で、お客さんの不安や心配などの相談を多く受けています。
人生で何度も無い不動産の取引。そんな取引を始める前に、少しでも不
安が無くなり、知らず知らずのうちに判断基準が身につくような方法は
ないか？と考えたのち、思いついたのがこの『住み替え通信』でした。
戸塚区内の誰にも不動産売買で後悔や失敗をさせない。
それがこの『住み替え通信』の最終目的です。

不動産売買のことなんでも電話相談
『不動産会社に行って相談するのはちょっと・・・』
という方こそご利用ください!!

私が相談に応じます!

オンラインでも
ご相談受付中!

戸塚区内の不動産売却専門

戸塚区不動産センター
(社)全日本不動産協会会員 神奈川県知事免許(第)第26744号
(株)エントリー 横浜市戸塚区戸塚町120番 旭ビル301号

お問い合わせは今すぐ!
Eメール・FAXは24時間受付中!!
☎045-489-7272
home@1totsuka.jp 9:00~18:00
FAX:045-489-7273 火・水曜定休
戸塚区の物件が全部見れる!! 戸塚区物件サーチ
戸塚区不動産センター 検索
www.1totsuka.jp/

戸塚区売却実況レポート

<2022年 6月の状況> <先月比>

売れた土地	14件	-3
売れた新築戸建	14件	-2
売れた中古戸建	25件	+1
売れたマンション	39件	+2

※当社で戸塚区の物件をお探しのお客様※

土地をお探しのお客様 ... 55組
一戸建をお探しのお客様 ... 123組
マンションをお探しのお客様 ... 142組

新築物件や土地は物件数も少ない
状況が続いていて低調ですが、
中古物件が堅調に売れています。
新築との価格差が以前より開いた
のもその要因の一つだと思います

《代行》

『代わりに行ってきて欲しい』
書類を取りに行ったり、結婚式に
出席したり、写真を撮りに行ったり
自分で行きたいけど、
どうしても行けない方の
代行をしています
忙しいから頼む方もいます
体力的に遠くに行けない
かたもいます。
あなたの代わり、
しっかりとはたして
きます!

便利屋サービス奮闘記

戸塚区専門の戸塚不動産センターがお届けする
住み替え通信

第122号

アドバイザー
高島修一

.....プロフィール.....
老舗不動産会社の長男とし
て誕生。大学時代に関東学
院大学ラグビー部に所属。
レギュラーとして活躍し、
大学日本一を争奪戦、卒業後
大手不動産会社に勤務。
現在は家族を養育する
責任から、売る人が安心して
るように情報を提供してい
くことをモットーに、日々
サポートに励んでいる。
実績が評価され、顧客満足
各種マスコミにも取り上げ
られる。
FMラジオでのパーソナリ
ティ、地元タウン誌
「タウンニュース」において
不動産のコラムも連載して
いる。

アシスタント
じっかさん



売却講座⑫ 『タダでも売れない不動産』

先日、親戚の叔母さんから久しぶりに連絡があって『もう、私も歳だから、身の回りの整理をしたいのしゅうちゃん、不動産の仕事やってるから、私のもってる別荘売ってよ』という相談でした。



叔母さんはこのタウンニュースのコラムも読んでくれていて、同じ戸塚区民でもまだまだ元気で、一人暮らしをしています。やっぱり持っている不動産の事など最近になって気になりだした様子でした

軽井沢と伊豆に、それぞれ広い土地
こちらに比べてもちろん土地の価格も安いとは思いましたが、
現地の不動産会社数社に聞き込みをしてみるとびっくり

『結論を言いますと、タダでも売れません』
どうやら需要がないということです



ちょっと田舎に行くと、タダでも売れない不動産がたくさんある
という話しはよく聞きますが、現実に遭遇するのは初めてだったので
ショックでした

叔母さんは笑いながら
『しょうがないねえ、墓まで持ってくか〜』なんて
言っていました。どうにかできないか今でも私は考え中です

叔母さんだけではなく、こういう事で困っている人はたくさんいると思います
価値が無いと宣告された不動産をよみがえらせる方法
簡単ではないと思いますが、不動産業界の人間として
今後も考えていきたい課題です



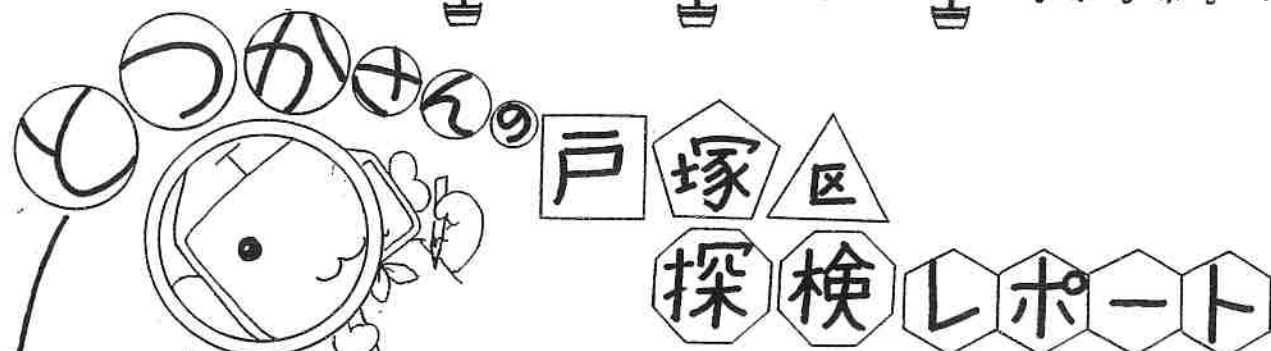
高島 陽一の
つぶやき
Vol. 122

戸塚区街活動スタート

戸塚区でお仕事をさせていただいている企業
として何か地元の役に立つ活動ができないか？
そう考え始めて数年経過
細々とブログを書いたり、SNSで発信したり
そんなことをしていますが、なかなか仕事の忙しさを
理由に本格的に活動ができない状態でした

しかし、ここ最近、協力者、スタッフとのご縁ができ始めてきたので
どういう形になるかわからないけど、まずはやってみよう！
ということで戸塚区の街活動をスタートすることになりました
何年かかるかわかりませんが、戸塚区に関わる人のお役に立てる形に
仕上げていきたいと思ひます

そのためにはあまり頑張りすぎず、成果を求めず、自分たちが楽しむこと
このスタンスで楽しみながら情報発信していきますので
温かい目で見守っていただけると嬉しいです！



『何かあったらどうするんだ症候群』

元陸上選手の為末大さんが
「私たちの国は「なにかあったらどうするんだ症候群」にかかっています。
この症候群は社会に安定と秩序をもたらしますが、その副作用として社会の停滞
と個人の可能性を抑制します。この症候群には「未来は予測できるものであり、
物事はコントロールできるものである」という前提があります。」という
コメントを出しました。
上記抜粋は全コメントの前半の部分なのですが、私はとても共感しました。
予測できる未来、は未来ではなく、想像しうる今の延長でしかなく、
きっと明日のことさえ本当の意味ではなんにも予測なんてできないはず。ず。
今年に入ってから戦争も、自然災害も、個人的な小さな出来事も。
それを、最近「予想できたはず」と非難され責任を問われます。
「予想できる明日」なんてない！！予想できる明日なんてつまらない！！
だから、誰かのせいにしない、どんな明日が来ても強く立っていられる
そんな人になりたいと思ひます